

授業科目名	社会学	担当教員名	西牟田 真希
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	社会学の基本的概念を学ぶことによって現代社会の課題や諸問題を理解し、社会学的なものの方、考え方ができるようになることを目標とする。 (1)現代社会の特質について理解する。 (2)現代社会における家庭や地域の特徴について理解する。 (3)現代社会における社会問題について理解する。 (4)社会問題と社会福祉の関連について理解する。		
授業の概要	社会学で扱う概念を使って、社会の様相と社会問題をどのようにとらえ、かつ理解するのかを学ぶ。		
テキスト	授業中適宜プリントを配布する。		
参考書・参考資料等	「はじめて出会う社会学——社会学はカルチャー・スタディ——」伊藤公雄・橋本満編 (有斐閣,1998)、その他は授業中適宜指示する。		
成績評価の方法	授業態度等平常の評価と授業中課題 (40%)、筆記試験 (60%)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション 社会学とはどのような学問なのか。カルチャー・スタディとは何かを考える。		
第2回	ジェンダー (1) セックスとジェンダー 性別という区別は乗り越えられるのか。性別二元制がもたらす社会構造を考える。		
第3回	ジェンダー (2) フェミニズム 「性をめぐる固定概念」は何か。「女らしさ」と文化について考える。		
第4回	ジェンダー (3) メンズ・スタディ 従来の性別観は普通なのか。男の「ジェンダー」について考える。		
第5回	マイノリティ (1) エスニシティと人種 民族は国家間の影響を強く受ける。差別と排除はどのように形成されるかを考える。		
第6回	マイノリティ (2) 在日外国人 外国人労働者はいつ、どのように増加したか。歴史と世代の形成はどのようなものかを考える。		
第7回	マイノリティ (3) エイズ 病いや障害は「不幸」なことなのか。そう思わせる社会システムや病気と差別との関係を考える。		
第8回	カルト (1) 宗教と科学・新宗教 宗教が科学と分離・対立する科学の進んだ現代社会での宗教観について考える。		
第9回	カルト (2) 神秘体験 合理化が進んだ現代社会で「神秘体験」にはまる人と、生きる実感について考える。		
第10回	ボディ (1) 身体と社会 わたしたちの身体は社会的・文化的に規定されたものであるという視点を学ぶ。		
第11回	ボディ (2) スポーツ 近代スポーツは社会にどのような変化をもたらしたか。国家のイデオロギー装置について、オリンピックを例に考える。		
第12回	ボディ (3) ファッション ファッションを装うことは何を意味するのか。流行や社会現象はどのように理論化できるかを考える。		
第13回	メディア (1) メディアと社会 「民意を問う」とはどういうことか。メディアの変遷からインターネット時代の社会の方向性を考える。		
第14回	メディア (2) ヴァーチャル・リアリティ メディアの進歩は社会的現実感や意識のあり方をどのように変えたかを学ぶ (教科書出版以降～現代までを含む)。		
第15回	総まとめ		
定期試験	筆記試験		